



令和4年4月に実施した全国学力・学習状況調査は、町内の小学6年生と中学3年生を対象に国語、算数・数学、理科の3教科で実施しました。中学校では新学習指導要領実施後、初の調査です。教育委員会から結果をお知らせすることで、地域の皆さまに与謝野町の子どもの現状を理解していただき、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの健全な育成を図っていきたく考えています。

学力調査結果から

小学校は、国語、算数、理科とも全国平均正答率を下回る結果となりました。中学校は、国語が全国平均正答率を上回りましたが、数学と理科は下回る結果となりました。共通の課題として、各教科の基礎となる「読むこと」「書くこと」の力を付けていくことが必要です。また、根拠を挙げて説明したり、自分の生活と結び付けて考えたりする力も求められています。

令和4年度全国学力・学習状況調査結果（正答率）

(単位：%)

(小学校)	国語	算数	理科
全国	65.6	63.2	63.3
与謝野町	61	62	61

(中学校)	国語	数学	理科
全国	60.9	51.4	49.3
与謝野町・組合	70	50	49

※ 与謝野町・組合…加悦中学校、江陽中学校、与謝野町宮津市中学校組合立橋立中学校の3校

きる力を育むために、次の3つの資質・能力を育てていくこととします。

- 1 実際の社会生活で生きて働く知識・技能
- 2 未知の状況に対応できる思考力・判断力・表現力
- 3 学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力や人間性



これからの教育を進めていくために

1 3つの資質能力を育む授業づくりと、居場所のある学級づくりによる一人ひとりの力の育成
 これからの時代の変化を見据え、子どもたちには自ら課題を見つけ、考えて行動する「生きる力」が求められています。新学習指導要領では生

ています。タブレット使用におけるルールや情報モラルの指導とともに効果的な活用を図り、一人ひとりの意欲を高める学びに生かしていきます。



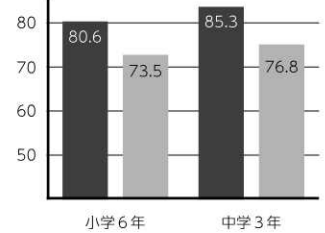
5 地域のつながりの中での育ち合いを大切に
 「地域の行事に参加しているか」という問いに対しては、コロナ禍で体験やふれあいの場が少なくなっている中、小・中学校とも全国平均を上回る結果となっています（表4）。このことから、子どもたちが地域とのつながりを大切にしていることが分かります。今後とも、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育むことが望まれます。

2 学習習慣を見直して、意欲ある生活を
 自分の生活をコントロールし、自分で計画を立てて勉強している児童生徒は小学6年で60・0%、中学3年で53・2%です（表2）。「家庭学習の時間は1時間未満」が小学6年で40・7%、中学3年で57・1%という状況です（表3）。また、「日々のゲームの時間が2時間以上」

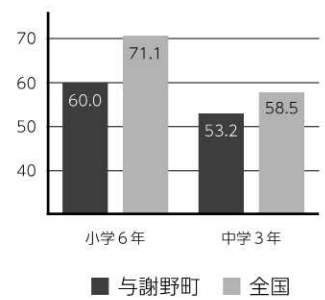
3 保幼小中連携の充実
 子どもたちの学力状況や指導方法を互いに交流し、学びの連続性を重視した授業改善に取り組むなど、小中連携を進めています。また、保幼小中教員の合同研修会などを行い、学びの芽を育む幼児教育との連携も大事に進めています。

4 ICTの効果的な活用
 文部科学省の「GIGAスクール構想」に沿って、児童生徒1人1台のタブレットを使った学習を進め

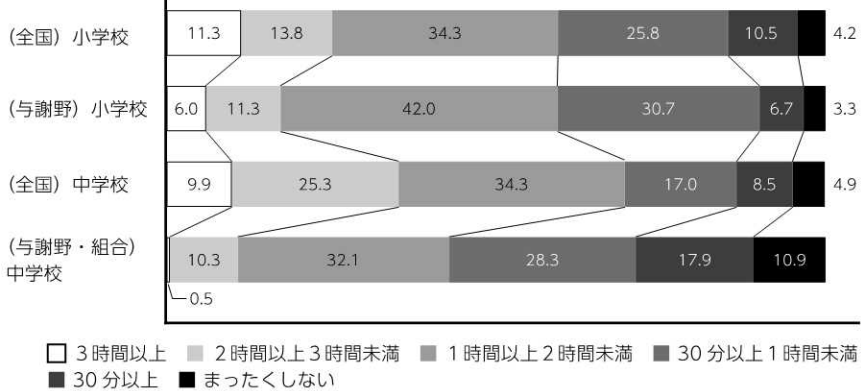
(表1) 学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めているかの割合



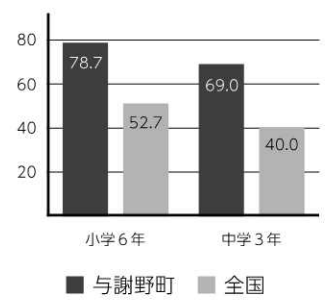
(表2) 自分で計画を立てて学習していると回答した割合



(表3) 小学校・中学校の家庭学習時間



(表4) 今住んでいる地域の行事に参加している割合



与謝野町の子どもたちが将来自立し、健康で幸せに生きていくために、学力向上に向けた取り組みを推進していきますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

